

(競 技 注 意 事 項)

※ スタートリストに記載の氏名、所属名は、そのまま記録証等に反映します。誤字や漢字変換ミスに気付いたときは、速やかに大会本部に申し出て、訂正の申告を行うこと。
(訂正の受付は、競技開始時刻の2時間前まで。)

本競技については、本年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会競技申し合わせ事項を適用する。

1. 競技者招集所は、100mスタート地点付近とする。
2. 招集時刻は、その競技の開始時刻を基準として下記のように行う。但し、場合により繰り上げ繰り下げ等変更があるのでアナウンスに注意すること。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前

※招集完了後は、競技開始時刻の10分前までに、出走種目スタート地点に集合すること。

- (1) 招集時刻に点呼を受けないものは、棄権としてその競技に参加できない。
- (2) 招集は本人とし代理人は認めない。但し、同時間帯に出場種目が重複する選手は、あらかじめそのことを、招集所の競技者係に申し出ること。
- (3) リレーのオーダーは競技開始120分前までにリレーオーダー用紙(上下2面1組)に記入して、切り離さずに招集所の競技者係に届けること。リレーオーダー用紙は招集所にある。
- (4) スタートの合図は、イングリッシュコールとする。
- (5) 不正スタートについては、次の通りに扱う。

【小学生】・・・同一競技者が2度目の不正スタートで失格。レースには参加できるが、結果は参考記録とする。

【中学生以上】・・・1回の不正スタートで失格、オープン参加扱いとする。
3. トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、プログラム掲載の数字の順とする。
4. トラック種目において2組以上実施の場合、タイムレース決勝で行う。
5. 800mはオープンレーンで行う。
6. アスリートビブス(ゼッケン)は、正しく、しっかりと胸、背部に結着する。ただし跳躍種目は、どちらか一方のみでもよい。なおアスリートビブスと安全ピンは、競技終了後に各団体でまとめて、大会本部に返却すること。
7. 腰ナンバーはプログラム記載の数字通りとし、招集時に右腰に結着しフィニッシュ後に返却する。

8. 走幅跳、投てき競技の試技は3回のみとし、決勝ラウンドは行わない。
(ジャベリックボール投げの試技は、3回連続で行う。)
9. 走高跳の競技方式は、日本陸上競技連盟競技規則に準ずる。
(1) 走高跳のバーの高さは下記による。(練習と最初の高さ)
- | | |
|--------------|--------------|
| (男子) 1 m 2 0 | (女子) 1 m 0 5 |
|--------------|--------------|
- (2) バーの上げ方は、審判長の指示による。
10. 砲丸の重さは下記の通りとする。
- | | |
|--------------------|---------------|
| (1) 一般男子 | 7 . 2 6 0 k g |
| (2) 高校男子 | 6 . 0 0 0 k g |
| (3) 一般女子・高校女子・壮年男子 | 4 . 0 0 0 k g |
| (4) 中学男子 | 5 . 0 0 0 k g |
| (5) 中学女子・壮年女子 | 2 . 7 2 1 k g |
11. 競技用具はすべて主催者が用意したものを使用すること。
12. スパイクピンの長さは、9 mm以下とする。
13. 靴底の厚さについては、TR5 及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。なお、使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後、提出を求めることがある。
14. スターティング・ブロックの使用は中学生以上とする。
15. バックストレートでのウォーミングアップは、場内案内図に記載の時間帯のみとする。
16. 小学生のウォーミングアップには、指導者(保護者)が付き添うものとする。
17. 区民大会の各種目1～3位入賞者には、賞状を授与する。リレー競技の優勝チームには、トロフィーを授与する。ただし表彰式は行わないので、表彰係まで取りに来ること。
18. 競技中の事故については応急処置を行う。それ以後の処置については各自で対応すること。
(参加者は大会中と行き帰りの傷害保険に加入している。)
19. 盗難等については主催者及び主管者は責任を負わないので、貴重品・バック等は、各自で管理すること。
20. ゴミは各自持ち帰ること。
21. 本大会の結果は、後日「目黒区陸上競技協会」のホームページに掲載する。

<https://meriku.tokyo>

